



校長室だより

令和6年度

9月30日

NO. 27

災害は忘れたころにやってくる! だから自分の命は自分で守る!



3年生
校内消防設備調べ



2023.6.2
秦梨学区大水害

避難訓練・消火器訓練



乙川沿いの通学路にも、彼岸花が赤く際立つ秋の朝を感じられるようになりました。ニュースで、「ごんぎつね」の舞台である、矢勝川の三百万本の彼岸花は、今年はまだほとんど咲いておらず、これも今夏の暑さのせいだと言っていました。今年の夏の異常な暑さは、もはや災害と言ってもいいでしょう。

今年、(今では足り前のようになってきていますが) 災害の多い一年のように感じます。元旦の能登での地震に始まり、お盆の時期には、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が、発令されました。三〇年以内に震度八以上の巨大地震が来る確率が七〇〜八〇%だそうです。大きな水害も各地で多発しています。何より、災害の最も恐ろしいのは、いつ、どこで、どれくらいの災害が起こるのかが予測できないことです。

市の方からも、南海トラフ地震臨時情報における対応が発表されました。「震度五弱以上の地震が発生した場合、学校は臨時休業になる」「巨大地震警戒が発表された場合には、(中略)原則として授業や行事は行い、授業終了後には、児童生徒等を速やかに帰宅させる」などです。学校が安全な場であるよう対応します。

二学期に入り、十九日に避難訓練が行われました。地震警戒の放送で、どこでもすぐに頭を覆うシェイクアウト訓練は、子供たちの中にも定着しているのを感じました。昔、阪神大震災の語り部さんから、「避難訓練をしていたせいで、百人以上の工員から、一人の死者・けが人も出なかった」という話を聞いたこともあります。災害に対する備えや準備の大切さを感じます。

とはいえ実際に、突然大きな災害が起こった時には、「命」の判断を自分でしなければなりません。自分一人で、急に大地震があつて、建物が倒れて、川が氾濫してなど…様々な場面を想定し、日頃よりどうするか考える準備の必要性を感じます。

- ・巨大地震や「南海トラフ地震臨時情報」発表の際の対応について、後日配布いたします。ご確認、よろしく願いいたします。
- ・10月27日には、秦梨学区地域総合防災訓練が行われます。災害に備えたり、災害時の対応を身に着的たりする機会になるとよいと思います。